2019年11月8日

**城南支部会員アンケート結果（全体）**

【実施概要】

期間 ：2019/9/1～2019/9/30

対象 ：城南支部会員　※ただし、アンケート回答時にログイン制限などは設けず

回答数 ：363件

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ⅰ-１ 性別を教えてください。 | | |
|  | | ・男性が約9割（89%）を占める。 これは前回調査とほぼ同じ割合（87.6%）である。 |
| Ⅰ-2 年齢を教えてください。 | | |
|  | | ・50台が最多の38.3%。  ・40代から60代で9割弱（85.7%）を占める。 これは前回調査とほぼ同じ割合（82.6%）である。 |
| Ⅰ-3 お住まいを教えてください。 | | |
|  | ・城南支部エリア5区内の居住者は36.6%、東京都全体で過半数（52.9％）を占める。  ・他県に居住する会員のうち、城南支部エリアに隣接する神奈川県の居住者が39.1%で最も多い（前回は37.8％）。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅰ-4 診断士登録年数を教えてください。 | |
|  | ・登録年数3年未満が最多の28.7%。前年調査（23.7%）と比較して5%増加した。  ・登録年数5年未満までが41.6%。  ・多少のばらつきはあるものの、全登録年数層の部員から回答を得ている。 |
| Ⅰ-5 城南支部在籍年数を教えてください。 | |
|  | ・在籍年数3年未満が最多の35%、次いで5年以上10年未満が23.4%。  ・在籍年数5年未満までで約半数（47.9%）を占める。支部在籍年数の比較的短い層の回答が多い。  ・Ⅰ-４の結果と比較すると、新規登録した診断士以外の城南支部の入部者が、ここ3年で増加している。 |
| Ⅰ-6 企業内診断士でしょうか、独立診断士でしょうか。 | |
|  | ・独立診断士の合計（48.5%）と企業内診断士の合計（50.5%）でほぼ同数。これは前回調査とほぼ同じ割合である。  ・企業内診断士の中でも「会社が副業可」の割合が前回調査に比べて約1割増加した(9.9%)。この2年の間で副業に対する会社の対応に変化があったことが伺える。 |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ-1 城南支部に入部した理由を教えてください。（複数選択可） | |
| その他の意見  ・城南地区が通勤途中にあったから  ・以前、城南支部エリアに住んでいたから  ・川崎在住で城南支部エリアが近いから  ・各種会員サポートの充実  ・ものづくり支援に熱心だから  ・先輩診断士から、勧められたから  ・管轄エリアに興味があるため | ・前回調査から、回答の傾向に大きな変化は見られなかった。  ・全363件の回答のうち、実務補修指導員からの推薦を受けて入部したという回答が203件（約56%）あった。  ・一方、居住地や勤務地が近いという利便性も入部の理由として多く上がっている。 |
| Ⅱ-2 城南支部に対する満足度を教えてください。 | |
| 2017年のグラフは、2019年と母数を合わせた比率値で作成しています。 | ・前回調査に比べ、満足度1の減少（前回12.0%→今回5.2%）と、満足度7の増加（前回17.5%→今回22.9%）が目立つ。  ・全体平均では前回調査が5.55だったのに対し今回は6.12と上昇した。 |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ-3 城南支部にはどのような特徴があると思いますか。（複数選択可） | |
| その他の意見  ・財務研究会がある  ・組織が成熟している  ・国際関係に力を入れている  ・懇親会、イベントが多い  ・ベテラン層が多い（平均年齢が高い） | |
|  | ・前回調査から、回答の傾向に大きな変化は見られなかった。  ・今回新たに選択項目を設けた「会員間の交流が盛んである」、「エキスパートコースが行われている」にも回答が集まった。 |
| Ⅱ-4(1) 昨年度参加したイベントについて教えてください。（複数選択可） | |
|  | |
|  | ・参加したイベントで最も多いのはスプリングフォーラム（45.7%）、次いで新緑フェスティバル（41%） 新規診断士登録者の多い春のイベントで参加者が多くなる傾向にある。  ・昨年度、イベントに一回も参加しなかった会員も37.2%存在している。  ・参加回答の合計は607件で、1人平均1.7件。前回調査の1.6件に比べて微増している。 |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ-4(2) Ⅱ-4(1)で「参加していない」と回答した方にお聞きします。参加しなかった理由を教えてください。（複数選択可） | |
|  | |
|  | ・前回調査から、回答の傾向に大きな変化は見られなかった。  ・開催前の告知を工夫することで、参加の動機づけとなる可能性がある。 |
| Ⅱ-5(1) 過去に参加したことがあるイベントや取組・事業について教えてください。（複数選択可） | |
| 2017年のグラフは、2019年と母数を合わせた比率値で作成しています。 | |
|  | ・参加者の数は、会員部主催イベント、次いで能力開発部主催セミナーとなった。  ・前回調査と比べると、青年部主催イベントへの参加者の増加が目立つ。（前回15.6%→今回27.5%）  ・参加回答の合計は862件で、1人平均2.4件。前回調査の2.1件に比べ、支部のイベントや取組・事業への参加機会が増加している。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ⅱ-5(2) Ⅱ-5(1) で「参加したことはない」と回答した方にお聞きします。参加しなかった理由を教えてください。 （複数選択可） | | |
|  | | |
|  | ・前回調査から、回答の傾向に大きな変化は見られなかった。  ・開催前の告知を工夫することで、参加の動機づけとなる可能性がある。 | |
| Ⅱ-6(1) 城南地区内の各区診断士会やそれ以外の診断士会に所属していますか。 | | |
|  | | ・城南地区内の診断士会に所属していない部員が約6割（62.3%）。  ・１つ以上所属している部員のうち、7割近く（67%）が1つの診断士会のみに所属している。 |
| Ⅱ-6(2) Ⅱ-6(1)で「1つ以上所属している」と回答した方にお聞きします。所属している理由を教えてください。 （複数選択可） | | |
|  | | |
|  | ・前回調査で最多だった「勧められたから」の回答が減少し、「地元に貢献したいと考えているから」「地域密着の事業や活動があるから」の回答が増加した。  ・地域との関わりのある活動を求めて、自ら診断士会を選択する傾向が強くなっている。 | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ⅱ-7 城南支部の各研究会等について、あなたの考えを教えてください。 | | |
|  | | |
| Ⅱ-8 新設してほしい研究会やそのテーマを教えてください。 | | |
| ＜ソーシャルビジネス系＞  SDGs (4)  CSV  ダイバーシティ、女性活躍  ソーシャルアントレプレナー研究会  ＜IT活用＞  AI、RPA、IOT関係  AIを活用した各種業務効率化に関する研究  先端科学技術（バイオ、AI、暗号通貨）  デジタル活用  データ分析 (2)  ＜マーケティング＞  ITを使ったマーケティング  次世代広報研究会（ＳＮＳ，ネットメディア活用）  Web･SNSマーケティング研究会  販売促進関係のテーマ  ＜国際化支援＞  インバウンド (2)  海外ビジネス  輸出、越境ECなど  ＜支援テーマ別＞  事業継続力強化研究会  経営改善計画策定、補助金申請  創業関係 (3)  M&A  地方創生 | | ＜支援先別＞  工場 (2)  医療ビジネス  商店街  介護福祉経営  スポーツビジネス  観光研究会  ＜研究分野別＞  中小企業のロボット活用  フィンテックに関する研究会  経済学の知識を向上・活用できるような研究会  知的財産関係の研究会  販促研究会  音楽・芸術を経営に活かす研究会  ＜交流・スキル向上＞  副業 (3)  人生百年時代における診断士の生き方  企業内診断士の親睦や能力向上に役立つ研究会  教育研修スキルアップ研究会  実務獲得に結び付く研究会  企業内診断士研究会  受注単価を高める  ティーチング、プレゼンテーション  ISOに関する研究会  ※カッコ()内は、複数回答数 |
|  | ・前回調査では、本設問の回答で希望の多かった「事業承継実務研究会」、「事業再生実務研究会」を創設した。 今回の回答もまた、新規研究会の創設のきっかけになることが望まれる。 | |
| Ⅱ-9(1) 今後、診断士資格をどのように活用したいと考えていますか。 | | |
| 2017年のグラフは、2019年と母数を合わせた比率値で作成しています。 | | |
|  | ・診断士資格を独立開業に活用したい（既にしている）という回答が最多の44.6%。前回調査（33.7%）から約1割増加している。  ・将来も含め、独立を見据えて診断士資格を活用しようとする傾向が高くなっている。（81.5%） | |
| Ⅱ-10(1) 現在、城南支部スタッフとして活動している部活動を教えてください。（複数回答可） | | |
|  | | |
|  | ・30.9%の会員が、城南支部スタッフとして活動している。ただし、支部スタッフの本アンケートへの回答率は高いことが想定されるため、この値は実際の割合とは異なると考えられる。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ-10(2) Ⅱ-10(1) で、「活動していない」と回答した方にお聞きします。活動していない理由を教えてください。 （複数選択可） | |
|  | |
|  | ・活動を考えていない会員が最多である一方で、「活動したいが機会がない」と考えている部員が78名存在する。 より多くの部員が活動に参加できる機会の創出が期待される。 |
| Ⅱ-11(1) Ⅱ-10(2)で「活動したいが部員としては難しい」と考えている城南支部活動を教えてください。（複数選択可） | |
|  | |
|  | ・具体的な活動を考えていない会員が最多である一方で、具体的に部での活動を希望する会員も多く存在する。 |
| Ⅱ-11(2) Ⅱ-11(1)で「活動したいが部員としては難しいと考えている城南支部活動」がある方にお聞きします。 活動の方法について教えてください。 | |
|  | |
|  | ・部員として活動するには、時間の確保が一番のハードルとなると考えられている。  ・一方で、イベントの手伝い・サポートをやってみたい会員が29名存在する。本格的な部活動に携わる前に、スポット的な活動機会が増えることが期待される。 |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ-12 専門家データベースの登録状況について教えてください。 | |
|  | ・現在登録している会員調査に比べて4.5%増加した。  ・「登録したいが登録方法がわからない」、「専門家データベースを知らない」会員が25.1%存在する。一層の認知度の向上が今後の課題である。 |
| Ⅱ-13(1) 城南支部ホームページの閲覧について教えてください。 | |
|  | ・「よく見る」、「たまに見る」の合計（52.6%）で過半数。  ・反面、約半数がホームページをほとんど閲覧していない。  ・少数派ではあるが、「ホームページの存在を知らない」という回答もある。 |
| Ⅱ-13(2) 城南支部ホームページに期待することを教えてください。（複数回答可） | |
| その他の意見  ・会員リンクが切れている  ・情報発信をSNSも含め活発に発信してほしい  ・ほとんど見ないので評価できない  ・ホームページの改ざんや個人情報の漏洩が起きないように定期的にパッチを適用したり気を付けてほしい  ・診断士にとって有意義な情報が多数あるようにしてほしい  ・城南支部のメーリングリストで情報発信するとき、メールの上段にURLを自動的に記載されるようにした方がよい | ・情報の充実を求める意見が最多。  ・掲載内容の充実と、目的の情報へのリーチのしやすさの両面で、改良が期待されている。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ⅱ-14 城南支部広報誌「診断」への掲載原稿や城南メルマガ・ＨＰコラムについて教えてください。（複数回答可） | | |
|  | | ・応募するつもりがない会員が最多である一方で、応募したいが方法がわからない会員が21名存在する。  ・応募要領の周知を工夫し、より多くの会員の応募機会を創出することが期待される。 |
| Ⅱ-15(1) 今後、城南支部に期待することを教えてください。（複数選択可） | | |
| 2017年「実務従事ポイント獲得機会の提供」には、実務従事機会の提供」を合算しています。  2017年のグラフは、2019年と母数を合わせた比率値で作成しています。 | | |
|  | ・前回調査と同様に、「仕事の提供・あっせん」「スキルアップの機会の提供」への期待が高い。  ・前回調査と比べると、「スキルアップの機会の提供」が6.4%、「企業内診断士や若手診断士の活躍の場の提供」が6.6%増加した。  ・一方で、「実務従事ポイント獲得機会の提供」、「ベテラン・中堅・若手の連携を支援」、「女性会員の活躍促進」の回答の減少が目立つ。 | |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ-15(2) Ⅱ-15(1) で「仕事の提供・あっせん」と回答した方にお聞きします。期待する仕事の内容を教えてください。 （複数選択可） | |
|  | |
|  | ・前回と同様に、「事業計画策定」、「創業支援」、「補助金支援」への期待が高い。  ・今回新たに選択項目を設けた「インバウンド対応」にも回答が集まった。 |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ-15(3) Ⅱ-15(1)で「仕事の提供・あっせん」を回答しなかった方にお聞きします。その理由を教えてください。 | |
| その他の意見  ・自分自身で獲得すべき。組織に頼るべきではない。  ・今のあっせんで個人的には十分であるため  ・本業、その他の活動で時間がとれないため（6）  ・当面は企業内に留まる予定  ・自分が希望する業界の仕事の提供は難しい。  ・先輩診断士との交流次第で仕事の紹介はいただける印象です。  ・今は対応できないため  ・会社時代からいろいろな仕事をやり、特に強みを持てていない。  ・研究会を中心に活動しているため  ※カッコ()内は、複数回答数 | |
|  | ・「仕事の提供・あっせん」を期待しない理由としては、大きく「他のルートで仕事を確保しているため」と、「状況が合わないため」に二分される。  ・特に、回答の多かった「企業内診断士であり、会社が副業禁止」の層については、今後会社で副業が認められた際に、支部への仕事の提供・あっせんの期待が高まると考えられる。 |
| Ⅱ-15(4) Ⅱ-15(1)で「外部機関との連携」を選んだ方にお聞きします。連携したい機関を教えてください。 （複数選択可） | |
| その他の意見  ・行政から業務を委託されている民間企業  ・大学、専門学校、ラボ・研究機関  ・技術士  ・民間コンサルティング会社  ・民間企業  ・業界団体（仕事のあっせんに繋がるもの） | |
|  | ・前回調査から、回答の傾向に大きな変化は見られなかった。  ・前回と同様に、「商工会議所」、「行政機関」、「金融機関」との連携を望む回答が多い。 |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ-15(5) Ⅱ-15(1)で「スキルアップの機会の提供」を選んだ方にお聞きします。スキルアップしたい内容を教えてください。 （複数選択可） | |
|  | |
|  | ・前回調査から、回答の傾向に大きな変化は見られなかった。  ・今回新たに選択項目を設けた「インバウンド対応支援スキル」にも回答が集まった。 |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ-16 地域支援部、地域事業開発部での仕事の提供・あっせん、実務従事機会の提供について、今後、期待することを 教えてください。 | |
| その他の意見  ・仕事のあっせん  ・オープンな人選  ・初心者・未経験者が参加しやすい体制の構築  ・未経験者向け実務従事機会の提供  ・選定理由の明確化、公平化  ・実務従事会の無償化  ・若手の登用  2017年のグラフは、2019年と母数を合わせた比率値で作成しています。 | |
|  | ・前回調査と同様に、「案件数の増加」への期待が高い。  ・前回調査と比べると、「期待しない」4.8%が減少し、支部への期待が高まっていることが伺える。  ・一方で、「特になし」の回答が10.4%増加した。この解釈は、「既に期待に応えている」というプラスの見方と、支部への関心の低さというマイナスの見方の両面が考えられる。 |
| Ⅱ-17 2018年度では、支部として会員増強プロジェクトおよび職域開拓プロジェクトに取り組みました。今年度の職域開拓プロジェクトと支部活性化プロジェクトに期待することはどのようなことでしょうか、ご意見があれば教えてください。 | |
| 【主なご意見】   |  |  | | --- | --- | | 項目 | 内容 | | 要望 | ・意欲的な人が活動できる機会の増加、活動した人が報われるしくみづくり　 ・診断士の認知度の向上及び診断士のニーズ向上に向けた働きかけ ・付加価値・単価の高い受託事業を受注すること ・若手の活躍機会の提供・企業内診断士の知的好奇心を満足させる企画の充実を希望 ・仕事のあっせん対象者の拡大、民間事業会社とのマッチング機会の創設 ・会員発の仕事提供の場の構築を希望します。 | | 提案 | ・複数支部所属、支部間移動などで支部間の交流をしてみても面白いかと思います。　 ・外部機関との連携強化、5年目以内の同期会のような集まり ・診断士登録3年未満の診断士が、アシスタント、無料で種々の経営の支援を体験できる仕組みを 　整備しては、いかがでしょうか。 ・もっとネット活用を強力に推進する必要があるように思う。 ・各区などに各診断士会と連携して業務を提案する。 | | 辛口意見 | ・当該プロジェクトの活動状況を把握していないので何を期待すれば良いか判りません。 ・結果が分からないのでオープンにしていただきたい。 ・活性化とはどのような状態かを統一認識したうえで目標値に到達したかどうかを明確にしてもらいたい。 ・職域開拓は、個人と支部とのバランスが必要。個人の業務を維持しながら支部のために活動するため 　には、具体的目標の設定が必要。 | | 好意的意見 | ・私の勤務先でも、紹介でお役に立てることもあるかな？と感じました。　 ・構造変化を期待します。　 ・これまでの活動はそれなりに成果が出ており、今後、さらに拡大していただければ良い。 ・機会が増えると応募できるタイミングも増えるので嬉しいです。 ・今後も続けていただきたい。自分の環境も変化しており、今後、独立に向けてのスキル蓄積へ進んで 　いるところなので、活用していきたい。 | | |
| Ⅱ-18 アンケートを通じた感想や、城南支部の取り組みへのご意見などがあればお聞かせください。 | |
| 【主なご意見】   |  |  | | --- | --- | | 項目 | 内容 | | 要望 | ・費用対効果が薄いので企業内診断士が活性化できるイベントや機会をたくさん設けて頂きたい。 ・アンケートからあまり活動してない会員のニーズや期待がわかるといいです。　 ・子育て世代が参加しやすいよう、平日昼間や週末のセミナーや研究会の開催の増加を望みます （平日夜は参加が難しい）。　 ・懇親はいらない、診断士の地位向上をはかってほしい。 ・若手が参加したくなる支部になっていくことを希望します。 ・ベテランの活用の仕方を考えた方がいい。　 ・要望ですが、城南支部の研究会後の懇親会場を禁煙にして欲しいです。いくつか参加しましたが 　いずれも喫煙可でした。女性診断士の参加増にも繋がると思います。　 ・若手を積極的に活躍させる場の創出を期待しております。 ・支部活動に参加したいが、人数の枠があってなかなか入部できないといった話をちらほら聞きます。 　やる気のある人材が支部活動に参加できないのはもったいないなと思いました。 | | 辛口意見 | ・アンケートが長い。　 ・短時間で人数も多いため、執行委員会が審議の場として機能していないと感じる。意見がない人は 　降りてもらい、意見がある人からは文書等で吸い上げる取組が必要と思う。 ・城南支部は、部活動みたいな先輩後輩関係が厳しい。三多摩は非常にフラット。見習ってほしい。 　時代錯誤を感じる。 ・去年、会員増強を旗頭に挙げることの意味を図りかねていた。会員を増やすことに意義がある、という 　発想自体にまったく賛同できなかった。二言目には「実践の城南」という言葉を言う方（幹部）が多い 　が、何を持ってそう言っていらっしゃるのか、他の支部と比べてどの点でそう言えるのか、理解できない。 ・一部のベテランの方が横柄で上下関係の厳しい雰囲気を作りだしています。若い人は上下関係を嫌う 　ことが多いので会員獲得の障害になると考えます。 ・会員ファースト？内向きな組織 ・一部の人に利権が集中しているように見えるのは健全でない。総じて、もっと透明性を高めるべきだと 　思います。 ・診断士協会の会費が高い　引き続き入会継続するか悩んでいる。 | | 好意的意見 | ・一歩一歩取組みが前進している感じがあり良いと思います。　 ・年齢・キャリアなどに関わらず、地域と社会に貢献したいという目的を持った中小企業診断士が活躍 　できることが城南支部の素晴らしいところだと考えています。　 ・城南支部内人脈が増えたせいかもしれませんが、年々情報がオープンになり、活性化していると 　感じます。　 ・アンケートをとって会員の要望を取り入れようという姿勢がとても良いと思います。 ・城南支部のさらなる発展期待します。　　 ・城南支部をよりよい支部にされようとする意識が感じられました。支部の改革につながることを期待 　しております。 |   以上 | |